

臨床研究のご協力のお願い

血液悪性疾患を有する ICU 患者の予後を予測する因子の検証

研究の目的

近年、敗血症など ICU へ入室を必要とする患者さんの死亡率は減少傾向ですが、血液悪性疾患の死亡率は 40-50%と依然高い状態です。現在、各国において血液悪性疾患を有する患者の ICU 死亡率の調査や死亡を予測する因子の検証が行われていますが、日本においてはその報告が少なく、日本人の症例集積が十分とは言えないのが現状です。今回、過去に当集中治療部に入室された血液悪性疾患の患者さんの診療録から、当院における死亡率の調査を行い、死亡を予測する因子を検証したいと考えています。この研究を行うことで、血液悪性疾患を有する重症患者さんに対し、より早期に集中治療を開始することで、死亡率を減少させることを目標としています。

研究の方法

平成 16 年 4 月 1 日以降に当集中治療部に入室された血液悪性疾患を有する方が対象となります。主な調査内容は、患者さんの背景(性別、生年月日、病名、慢性疾患の有無など)、ICU 在室中の情報(重症度や検査結果、治療内容など)、転帰に関してです。本調査は純粋な調査であり、患者さんへの直接的な介入や影響はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が特定されることは決してありません。

なお苦情がある場合は、研究支援課で受け付けますので、ご連絡ください。

本研究への質問に関する連絡先
麻酔科学・集中治療医学講座 集中治療医学部門
助教 方山 真朱 (0285-58-7392)

苦情がある場合の連絡先
自治医科大学 研究支援課(0285-58-7550)

平成 27 年 5 月 20 日 作成